

8月9日：VN指数は下落（VN-Index -0.66%）

- 投資家の慎重姿勢を受けて、VN インデックスは前日終値から安く始まった。ムーディーズ社が銀行セクターの格付を引き下げ、アメリカ市場が下落したことにも影響され、投資家は弱気姿勢に回っていた。
- 立会中はプラス圏に転じそうな場面も見られたが、上昇に転じるほど買い圧力は強くなかった。
- 後場に入ると慎重姿勢は一層高まった。買い方の勢いは弱まり、市場は下落幅を広げた。
- 上昇は 215 銘柄、下落は 276 銘柄、変わらずは 43 銘柄で、市場にはネガティブなセンチメントが支配した。
- 流動性も低下し、売買代金は 21.7 兆ドンだった。

VN-30 指数も軟調（VN30 -0.64%）

- 大型株で構成する VN30 指数は上昇が 2 銘柄、下落が 27 銘柄、変わらずが 1 銘柄となった。
- しかし、ホアファット・グループ（HPG、+2.2%）、サコムバンク（STB、+4.7%）などの上昇は際立っていた。
- 大型株の多くが売られ、ビンホームズ（VHM、-3.5%）、ベトナムラバー・グループ（GVR、-2.0%）、ビナミルク（VNM、-1.9%）、モバイルワールド（MWG、-1.9%）、ビングループ（VIC、-1.8%）などが下落に拍車をかけた。

セクター・個別株の動き

- 鉄鋼価格が 15 か月連続で下落し、過去 3 年で最安値水準となったが、この日は HPG に加えホアセン（HSG、+2.1%）、ナムキム鉄鋼（NKG、+1.6%）などの鉄鋼株が上昇した。

- ビナミルク（VNM、-1.9%）は、オリオンがタイの乳業メーカーであるダッチミルとの提携、ベトナム市場への参入を発表したため、市場シェアを脅かすことが嫌気され下落した。
- 外国人投資家はホーチミン市場で 3,379 億ドンを買い越した。主にホアファット（HPG）やマサングループ（MSN）が買われた。半面、ビンホームズ（VHM）、や SSI 証券（SSI）は売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。